

日本品質のトンネル掘削工法でベトナム国内をつなぐ！

～AGF 工法と薬剤注入充填工法で安全かつ高品質なトンネル建設を～

国際協力機構（JICA）は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社亀山（福岡県柳川市、亀山元則代表取締役）と株式会社カテックス（愛知県名古屋市、加藤巳千彦代表取締役社長）が共同提案する「AGF 工法及び薬液注入工法によるトンネル掘削工事の安全性向上及び長寿命化に関する案件化調査」（ベトナム）を採択しました。

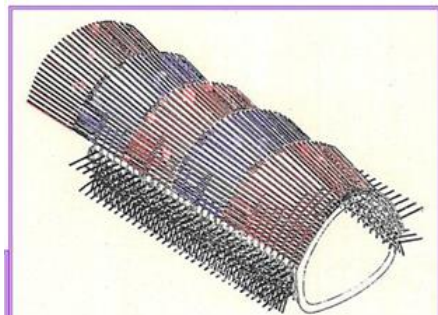
近年目覚ましい経済成長を遂げているベトナムですが、中部・内陸部では山岳地域が大部分を占め、都市間交通網整備の大きな障害となっています。今後、ベトナムでは数多くのトンネル建設が見込まれていますが、山岳地域は縦貫造山帯に属し、断層を含む非常に不安定な地層が混在しており、掘削工事に伴う小規模な崩落事故が発生しています。

（株）亀山が提案する AGF 工法と（株）カテックスが提案する薬液注入充填工法を組み合わせることによって、トンネル掘削現場における安全性を向上させ崩落事故を防止し、幹線道路網整備の早期実現に貢献します。また、既存トンネルにも薬液を注入することにより、強度の向上が図られ、長寿命化が期待されます。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2016 年度第 1 回分は本年 2 月に公示を行いました。117 件の応募のうち 35 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査 2016 年度第 1 回公示の採択結果について

URL：<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>



AGF工法は、『**充填式フォアポーリング**』では天端の安定が図れないと判断された場合に、『**注入式フォアポーリング**』と比較したうえで、『**天端緩み土圧**』を考慮する場合に採用します。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州国際センター 市民参加協力課 浅井 TEL 093-671-8204

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 安井（案件担当）、橋本（広報担当）

TEL 03-5226-3243 e-mail：pdtfs@jica.go.jp